

2023. 4. 5

No.054

4月5日 東地申第61号

北千住営業統括センター

「統括センター・営業統括センターの設立（第3期）について」に関する説明申し入れを行う！

 東地申第061号
 2023年4月5日

 東日本旅客鉄道株式会社東京支社
 支社長 深谷光浩 殿

 JR東日本輸送サービス労働組合
 東京地方本部
 執行委員長 中山貴宏

 「統括センター・営業統括センターの設立（第3期）について」に関する説明申し入れ
 【北千住営業統括センター】

地本は、2022年4月25日、「統括センター・営業統括センターの設立について」の提案を受けて以降、関係する支部・分会と議論を進めてきています。

営業統括センターについては、2022年7月1日に第1期が設立。11月1日に第2期が設立されましたが、業務を熟知した社員の育成が課題であり、この課題について設立以降、どのように解決していくかが求められています。

また、これまでの交渉において、統括センター・営業統括センター設立の目的は、「社会の急速な変化を踏まえ『グループ経営ビジョン2027』の目指す鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換に向けて、系統を超えて新たな価値の創造を一層推進していく観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させていくもの」と労使で確認してきました。しかしながら、この考え方がすべての統括センター・営業統括センターに当てはまるのか疑問を抱いています。

したがって、以下の通り申し入れますので、会社の真摯な回答と議論を要請します。

記

1. 北千住営業統括センターにおいて、今施策の目的をいかに達成するのか会社の考えを具体的に明らかにすること。
2. 北千住営業統括センターにおける駅毎の特情について、会社の認識を明らかにすること。
3. 北千住営業統括センターにおいて、社員育成・教育について具体的に示すこと。

4. 北千住営業統括センターにおいて、運転・CS勉強会等、各種勉強会の必要性と今後の開催方法についての具体的に示すこと。
5. 営業統括センターの勤務は平準化するべきであると考え、会社の考え方やスケジュールを具体的に示すこと。
6. 北千住営業統括センターにおいて、当務駅長の配置について具体的に示すこと。
7. 北千住営業統括センターにおいて、勤務作成の方法、作成箇所、作成者の指定について考え方を具体的に示すこと。
8. 北千住営業統括センターにおいて、制服を着用し駅相互間を移動する際の考え方を具体的に示すこと。
9. 北千住営業統括センターにおいて、貸与品を保管するための個人用ロッカーなど必要な設備の整備について考え方を具体的に示すこと。
10. 北千住営業統括センターの「目指す職場像」を明らかにすること。
11. ワーキンググループの資料では「特情を配慮して、何を妥協して、何を固持するのか、本質を見失わず議論することが大切」とあるが、北千住営業統括センターにおいての「仕事の本質」とは何か具体的に明らかにすること。
12. 北千住営業統括センターにおいて「業務の融合」について範囲や業務内容を具体的に明らかにすること。
13. 北千住営業統括センターにおいて、作業ダイヤで「企画業務」を指示するのか明らかにすること。また、「企画業務」の目的や必要性について明らかにすること。
14. 北千住営業統括センターにおいて「不要業務のスリム化」について会社の考え方を明らかにすること。
15. 北千住営業統括センターにおいて「フレキシブルな働き方（アクティブシフト）」について、目的や活用方法を明らかにすること。

以上

4月5日、東京地本は東地申第61号「統括センター・営業統括センターの設立（第3期）について【北千住営業統括センター】」に関する説明申し入れを行いました。発足が6月1日に迫る中、未だに詳細が明らかにならず多くの問題が発生することが予想されます。働きやすい職場をつくり出すために説明交渉に臨んでいきます。

**現場の声をもとに働きやすい職場とするため
団体交渉に臨んでいきます！！**